昭和40年4月5日第三種郵便物認可
（旧「公衆衛生」）

2011年12月15日発行
第561号（通算）
発行：偶数月15日
会員購読料：1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境保健・生活科学・コミュニティ活動の総合情報紙

環境と健康

発行者
HIROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION
財団法人 広島県環境保健協会
近光 章
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730−8631
電話 082−293−1511番
振替口座01380−2−27511
URL http://www.kanhokyo.or.jp/

子どもたちのメッセージを公衛協活動に

第52回広島県公衆衛生大会

第五十二回広島県公衆衛生大会が十一月十日、広島市佐伯区民文化センターで開催され、広島県内から公衆衛生推進委員や行政事務担当者など、約五百五十人が参集した。この大会は、公衆衛生の向上に日々努力する個人や団体を称え、知識や体験の交流を通じて真に健康な県民生活の実現に寄与することをねらいとして開催している。

式典では、県知事および環保協理事長より公衆衛生活動において多大な成果をあげた三十九人六団体の功績を称え、表彰状が授与された。

次に、地区衛生組織代表者会議の宮本英暉議長による大会宣言が読み上げられた（**宣言文は下記**）。東日本大震災の発生が、改めて安全で健康な生活を維持する重要性を考えるきっかけとなったことに触れ、読み上げられた計六つの活動項目は、会場の大きな拍手によって採択された。これらの項目は、向こう一年の地区衛生組織の実践活動の柱となる。

続いて、「環境啓発ポスター・標語コンクール優秀作品表彰式」を実施。各市町公衛協が主催し、小中学生を対象に「地球温暖化」をテーマにしたポスターおよび標語を募集。今年は県内からポスター一万千四百五十九点、標語一万二千八百六十四点の応募があった。表彰式には、入選した小学校低学年、高学年、中学校の各部門の最優秀受賞者、および開催地近隣である廿日市市の入賞者あわせて十二人が登壇した。ステージ上に映し出された児童・生徒の入選作品に選考委員が講評し、各児童・生徒には近光理事長から表彰状とトロフィーが授与された。また、児童・生徒を代表して、「電気OFF エコへの気遣い ONにして」で標語【中学校の部】最優秀賞を受賞した七ツ河亮太さん（世羅中学校）が、「使っていない部屋に灯りがついているのに気づき、ひらめいた」と作品を考えたときの様子を披露した。

午後からは、「一万人のエコチェック事業おたのしみ抽選会」を実施。一万人のエコチェック事業は、全県共通事業重点メニューとして昨年度から進めている事業。強化月間と定めた九月の一カ月間、家庭において電気・ガス等の省エネを実践し、前年同月の使用量と比較し、その効果を「見える化」しようという取り組みである。数値を書き込んだ「エコチェックカード」は大会会場へ持ち込まれ、抽選券に姿を変えた。今回は、下段の三種類の景品五十点が実践公衛協の手に渡った。

最優秀賞を受賞した七ツ河亮太さんへのインタビュー（上）。おたのしみ抽選会で詰め合わせセットが渡された（右）

大会を締めくくるプログラムは、「環境啓発ポスター標語コンクールから見る公衛協活動～私たちが期待すること～」と題し、コンクール選考委員四名によるリレー講演を行った。（**講演要旨は二面**）

〝作品をつくる子どもたちからのメッセージを受け取り、その問いかけに応えられるよう活動に繋げていただきたい〟と公衛協にエールが送られた。（**地域活動支援センター**）

大会宣言

私たち公衆衛生推進委員は、積み重ねられた歴史の中で、あらゆる主体と協働しつつ、自主的・組織的な実践活動をとおして、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。急速に進む地球温暖化や生活習慣病の蔓延など、深刻かつ緊急を要する課題は後を絶ちません。また、今年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害は衝撃を与え、そして山積する課題は、改めて安全で健康な生活を維持する重要性を考えるきっかけとなりました。

私たちは、地域の課題に積極的に対処しながら、人々がより快適で健やかに暮らす活力あるコミュニティの実現をめざし、これまでにも増して地域リーダーとしての機能を発揮していかなければなりません。

そこで、『健やかな暮らしをつくる人々の集い』をテーマに開催するこの大会を契機に、次の6つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けて邁進することを宣言します。

1. あらゆる主体の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
2. 生活習慣の見なおしと実践活動による健康づくりの推進
3. 生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進
4. 学社融合による環境と健康の実践活動の推進
5. ごみ減量に向けた3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
6. 上記の1～5を実現するためのコミュニティ組織の強化

平成23年11月10日
第52回広島県公衆衛生大会

訃報

当協会初代理事長の青木秀信氏が、去る十一月二十一日に急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

琴線歌（きんせんか）

新年に向けて

今年はユーロ圏での金融危機に始まり、三月十一日の地震・津波・原発事故、夏には台風を伴った集中豪雨で和歌山県では多数の集落が孤立、崩壊した集落もあった。また海外に目を向けると、タイでは大洪水にみまわれ、未だに治まる気配もなく、さらにアラブ諸国での独裁者政権の崩壊と目を覆いたくなるような出来事が多発した。

さらにTPPもやっかいな代物で、輸出企業などは対等な競争論理で戦えるようだが、国内の農業分野、医療分野、金融分野などは国際競争にさらされた時、生き残っていけるのか、不安材料は多く、人々が将来に大きな不安を覚えた一年ではなかったか▼異常気象の原因の一つにラニーニャ現象がある。気象庁によると、南米大陸・ペルー沖の赤道付近で、海面水温が基準値と比べて〇・九℃低くなったため、この現象が発生しており、来年春頃まで続く見通しだという▼ラニーニャ現象は去年の夏にも発生し、今年の春に終息していたが、一年に二度も発生するのは、気象庁が統計を始めた四十九年以降初めて。この現象が発生すると、日本は冬型の気圧配置が強まり、西日本を中心に厳しい冬になる傾向がある。これに北極からの強い寒気の南下が重なると、さらに厳しい冬になることもあり、この冬の電力需給にも大きな影響を与える可能性がある▼ラニーニャ現象の原因は、地球温暖化という説もあるが、今だはっきり特定できない。人類は住みよい地球を取り戻すためにミッションを共有し、ビジョンを定め行動を起こすべきだ。新年に向け、環境問題に熟知している環境保健協会のリーダーシップを期待する。

（広島県共済 柳 教朗）

1万人のエコチェック事業 おたのしみ抽選会 景品一覧表

- マツダスタジアム観戦チケット（10試合）
- ワットチェッカー（10台）

- 広島県食品自主衛生管理認証商品 & 有機JAS認証商品詰め合わせ（30セット）

下の6つの商品の中から3つ

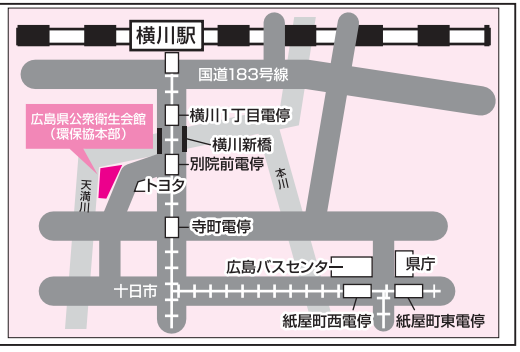
川中醤油【天然かけ醤油】【丸大豆濃口醤油】
藤い屋【もみじまんじゅう】
センナリ【ドレッシング】【純米酢】【リンゴ酢】
モーツアルト【焼き菓子セット】
やま磯【焼き海苔】
やまだ屋【焼き菓子セット】or

環境と保健の未来（あす）をめざして

財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9番1号（広島県公衆衛生会館）
TEL:082(293)1511 ［大代表］
FAX:082(293)1520

かんほきょう 検索



第52回広島県公衆衛生大会講演要旨

環境啓発ポスター・標語コンクールから見る公衛協活動

～私たちが期待すること～

今年で四年目を迎え、県内に広く定着しつつある「環境啓発ポスター・標語コンクール事業」を公衛協活動でどのように活用するのか、また、コンクールの意義や各地域における選考ポイントなどについて、選考委員それぞれの視点からリレー形式でご講演いただいた。（発表順）

子どもたちと共に環境問題に向き合う

作品は多くの人の目や心に触れてこそ完結

地球温暖化対策はつかいちさくら協議会理事

【菅川　真弓氏】（ポスターを審査）

コンクールの審査に関わって三年目。毎回、子どもたちの素直で正義感あふれる作品に触れるたび、この中から賞を選考しなければならないことに胸を痛めている。子どもたちは、作品を描くとき、それぞれの知識や経験の中からテーマを考え形にしていく間、環境や地球温暖化問題について一生懸命考えている。真剣に環境問題に向き合って自分の思いを表現した作品には強いメッセージを感じ、審査するときに大事にしている。

公衛協の皆さんには、ぜひ、このコンクールに、より多くの子どもたちが参加してもらえるよう働きかけてほしい。未来を担う子どもたちに、環境や地球温暖化問題について一生懸命考えるチャンスを与えることは意義のあることであり、子どもたちの中から温暖化問題を解決する科学者や政治家が生まれるかもしれない。ぜひ、その生みの親になっていただきたい。

広島大学大学院教育学研究科造形芸術教育学教授

【内田　雅三氏】（ポスターを審査）

ポスターを選考するとき、表面的な情報として〝ごみ〟や〝節電〟の問題をストレートに描くことも大事であるが、その奥に何を伝えようとしているかを感じ、子どもたちの心が直接私の心に伝わるかを大事にしている。

「作品は描いただけでは作品として成立しない」としばしば語られるように、多くの人の目に触れ、多くの人の心に伝わってこそ、作品が作品として成り立つ。その意味で、子どもたちのポスターも私たちの力で他者へ伝えるものにしなければ作品として完結しない。

このことから、ぜひ、皆様のご協力をお願いするとともに、来年度のコンクールに応募しようとする子どもたちへ環境問題がより浸透していくきっかけとして、この事業を発展させていただきたい。

中国新聞社論説委員

【岩崎　誠氏】（標語を審査）

標語は、身近な生活や社会、世界の成り立ちがよくわかっていないと書けない。「今、何が起きているのか」を瞬時につかみ取る能力が必要とされる。われわれメディア業界では、これをニュース感覚と呼んでいる。

今年の標語にもニュース感覚を感じる作品が多くあった。〝節電し　窓を開けると　天の川〟や〝電気OFF　エコへの気遣い　ONにして〟などは今年の焦点でもある節電をうまくニュース感覚でとらえたものであった。ぜひ、今後も子どもたちに、日々の新聞を読むことによってニュース感覚を培っていただき、標語の応募をお願いしたい。

広島修道大学名誉教授

【森嶋　彰氏】（標語を審査）

ポスター・標語コンクール事業を実施する上でのわれわれの真の目的は、子どもたちが何を伝えたいかを読み取ることである。作品には子どもたちからのメッセージや叫びがあり、これは大人に対しての問いかけでもある。

一九九四年、子ども地球サミットが島根県松江市で開催され、難病にかかり十二歳の若さでこの世を去った坪田愛華さんの〝地球の秘密〟という作品が紹介された。この作品は、十一カ国語に翻訳され、今も八十カ国以上の国で読まれている。今思い出すと十五年以上経過しているが、まだ愛華さんの問いかけに対して答えを出していない。

やはり次のステップとして、子どもたちの問いかけに応えるべく、地域で子どもたちを巻き込んで、できることから解決に結びつくような取り組みを実践していかなければならない。

公衛協の皆さんにも、地域の環境問題と向き合い、支え、今後とも頑張っていただきたい。

（文責：編集部）

1万人のエコチェック事業 中間報告

二年目を迎えた「一万人のエコチェック事業」は、公衆衛生推進委員がわが家の省エネ行動をチェックし、電気・ガス使用量を前年同月と比較して、省エネ効果を数値として把握＝「見える化」するというもの。

今年は昨年より参加数が増え、二十五市町公衛協で実施。県内九千百八十五人の公衆衛生推進委員のうち、二千三百五十六人が実践、九月の検針日までの約一カ月間、各家庭で省エネに取り組んだ。

また、今年は東日本大震災後の電力不足から、意識して節電を実践した人も多くみられ、電気は一世帯あたり平均約五百五十六キロワット時を消費、昨年と比較して約五十八キロワット時の削減となり、各家庭で約十％の削減を達成した。都市ガスは、一世帯あたり平均約五十立方メートルを消費。削減には至らず、一世帯平均約一立方メートル増加となった。これは、昨年の猛暑と比較して今年の平均気温が低く、給湯需要が高まったためと推察される。

全体的に節電意識の高まりもあり、省エネ項目を定めて取り組まれた方が多く、削減効果を数値として実感できたという意見が多数寄せられた。

しかし、実践率で五十％以上を超えた市町公衛協は大竹市、福山市、府中市、神石高原町の四市町であり、全体では二十六％の実践率にとどまった。昨年度も回収率の低さに悩んだ公衛協は多く、推進委員全体への普及をさらに向上させることが課題である。

削減効果として前年より何％減ったという成果が数字で明確になれば、省エネに取り組む動機付けにつながる。削減効果を数値として把握していく積み重ねが省エネ活動の「継続」を生む。引き続き、冬の節電に向けて、暖房の観点から家庭で使用する電化製品をいま一度見直し、継続して省エネ活動に励んでいただきたい。

（地域活動支援センター）

節電効果を数値として実感

25市町公衛協が参加実践率26％

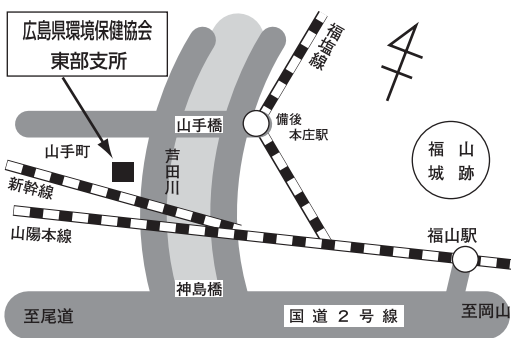
●1万人のエコチェック事業実践率一覧●　（広島県公衆衛生大会回収時点）

No.	公衛協名	全委員数	実践者数	実践率	No.	公衛協名	全委員数	実践者数	実践率
1	府中町	102人	41人	40％	14	北広島町	409人	160人	39％
2	海田町	95人	38人	40％	15	安芸高田市	300人	12人	4％
3	熊野町	31人	14人	45％	16	東広島市	約1,000人	143人	14％
4	坂町	20人	9人	45％	17	三原市	400人	20人	5％
5	江田島市	169人	46人	27％	18	世羅町	484人	76人	16％
6	竹原市	86人	13人	15％	19	尾道市	422人	99人	24％
7	大崎上島町	52人	15人	29％	20	福山市	1,184人	671人	57％
8	大竹市	70人	58人	83％	21	府中市	614人	347人	57％
9	廿日市市	285人	132人	46％	22	神石高原町	31人	23人	74％
10	廿日市市大野	647人	131人	20％	23	三次市	414人	90人	22％
11	廿日市市佐伯	21人	5人	24％	24	庄原市	241人	106人	44％
12	廿日市市宮島	44人	19人	43％	25	呉市	1,993人	74人	4％
13	安芸太田町	48人	14人	29％	県内（26公衛協）		9,185人	2,356人	26％

【電気】
1世帯あたりの電気使用量　約556kWh
平均増減量　⇒　約58kWh削減

【都市ガス】
1世帯あたりの都市ガス使用量　約50m³
平均増減量　⇒　約1.0m³ 増加

東部地区の検査受付は、支所でも行います！



食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など

【受付時間】月曜日から木曜日　8:30～17：30

財団法人　広島県環境保健協会
東　部　支　所
〒720-0092　福山市山手町5-32-26

② リースづくり 竹の使い方

地域資源を活かした簡単工作

色味と配置バランスがポイント

【リースづくり】

リースといえばクリスマスリース。魔よけや豊作を願って玄関を飾るなど、由来には諸説があります。　日本では、手軽に飾れ、個性が光るクリスマスアイテムやフラワーアレンジメントとして作られ、活用されています。

リースづくりのポイントは、色味と配置バランス、素材や形にとらわれないこと。でき上がりの形はハート型や棒状、材料も木の実や貝がら、流木などさまざまです。みなさまの身近にある素材を活かして、オリジナルリースづくりを楽しんでみてはいかがでしょうか。

準備する道具は、木工用ボンド、せんていばさみ、針金、リボン。作業時間を短縮させるなら、グルーガン（当協会で貸出あり）を用意しましょう。

リースの材料集めにもポイントがあります。まず、つるは植物の成長が止まる夏から秋がねらい目。つるはその場で巻き、持ち帰って一週間程度陰干しにします。使う前に二、三日水に浸しておくと、曲げやすくなります。飾りに使う素材は、枝や木の実、貝殻や漂着物で、強風の日や海の荒れた翌日に公園や海岸を散策すると手に入ります。近所の公園やさんぽ道で探してみましょう。素材になりそうなものが見つかるはずです。

リース（輪型）のつくり方

1. つるを3重にした輪を作り、余りのつるをらせん状に2周程度巻く
2. つるの端は輪の中に編み込むか、切り取る
3. 輪の広がる部分やボリュームのあるほう、重そうなところを下にすると安定感が出る
4. マツボックリなど、大きな飾りを針金などで固定する
5. 自分の好みで、飾り付ける
6. 木工用ボンドを使う場合は1日乾燥させた後、リボンなどで装飾して完成

【竹の使い方】

皆さんが生活する中で、最も身近な植物は?と聞かれたら、何と答えますか?「竹」といわれて、なるほどと思われる方はどのくらいいらっしゃるでしょうか。

春にはタケノコが顔を出し、大きく育った竹は、竿や建材として利用されるほか、箸やざる、すだれなど暮らしのなかの道具として、水鉄砲や竹とんぼなどの遊具、竹炭など燃料としても、古くからさまざまな場面で私たちの生活を支えてくれている植物です。

使い方にも工夫が凝らされ、伐採したままの青竹や油抜きをした晒し竹、屋根裏で燻された煤竹など、切り出された後の保存状態で弾力性や耐久性、硬さなどが変わるので、用途に応じて使い分けられています。

ところが近年は、竹製品を作らなくなり、竹林もタケノコを採るほかは利用しなくなってきています。人の手が入らなくなった竹林は、周囲の林に無秩序に拡がっており、問題になっていることをご存知でしょうか。

竹は旺盛な繁殖力を持ち、タケノコから二、三カ月で成竹になるため、あっという間にその土地を覆いつくします。日をさえぎり、地下茎が地面を固めるため、他の植物が育ちにくくなり、森の多様性を消失させてしまいます。また、畑や宅地にも侵入する被害も起きています。

ともすれば「悪者」扱いされる竹林ですが、適切に管理すれば環境の守り役になります。また、竹を使うことで石油由来のプラスチック製品の使用を抑制でき、細かく砕いて竹肥料や家畜用の竹飼料など新しい活用方法も研究されています。

県内では、地球温暖化対策地域協議会の「脱温暖化ネットおんど」「脱温暖化・門田地域協議会」「くい環境会議」「エコーNNくろせ」が、竹炭づくりや竹炭アート、竹パウダーなど竹の利用促進に取り組んでいます。

皆さまの地域でも、工作・クラフトやそうめん流しなど竹を使いながら、竹林の問題について考えてみてはいかがでしょうか。

（地域活動支援センター　馬場田　真一）

荒廃した竹林

竹の利用例一覧

生　活	ざる・箸・楊枝・茶筅・花生け・孫の手・杖・玩具・うちわ・扇子・和傘・ちょうちん
構　造	物干し竿・つっかい棒・建築外部足場・冬囲い
楽　器	尺八・篠笛・能管など管楽器
遊　び	水鉄砲・竹馬・竹とんぼ・ぽっくり・武具
スポーツ	竹刀・弓・矢

適正管理で財産に

古くから衣食住で活躍

公衛協 ア・ラ・モード

「ア・ラ・モードとはフランス語で、流行の・先進的など訳されます。この連載では、市町公衛協のみならず、支部・地区・学区公衛協を対象に、オリジナル性のある先進的な活動を取り上げ、公衛協活動が流行・トレンドとなるための情報発信を行います。」

① 福山市神辺学区公衛協【ため池教室】

重点メニューをきっかけに学社融合

地元の身近な環境を点検

福山市の神辺学区公衆衛生推進委員会では、十月二十六日に福山市立神辺小学校四年生児童約八十名と「ため池教室」を実施した。

神辺学区には、古くから多くのため池が存在するが、生活に身近な水環境であるにもかかわらず、いつの頃からか「危ない」などの理由で遠ざけられ、これまであまりふれる機会がなかった。

近年では、生活排水の過剰な流入や外来生物の持ち込みなどにより、ため池の環境が変化している。ひどいところでは、富栄養化により繁茂しすぎた外来植物が腐敗して異臭が発生したり、ブラックバスをはじめとする外来魚がメダカなどの在来魚を食い尽くすなど、環境の悪化が目にとまるようになった。

そこで、公衛協が中心となり、地域が一体となって、ため池の水質と自然を守る活動に繋げていく取り組みがはじまった。

当日は、ため池の歴史や役割などを考えるクイズ、ため池周りのフィールド調査、公衛協推進委員らが、ため池周辺の昔の姿や人の暮らしぶりなどを紹介。フィールド調査では、児童らが、アドプトサインをはじめ、ミシシッピアカミミガメ、ヌートリアの巣、水のにごり、水底から出る泡などを発見し、ため池マップを作成した。

この事業は、平成二十三年度全県共通重点メニュー「広島発・瀬戸内海美化大作戦」に申請されたもの。支援グッズのテキスト「瀬戸内海ってどが～なとこ?」を配布し、「池の水質を守るのは私たち次第。環境を守っていくために、家庭でできることを家族で考えて実践しよう」とまとめた。

参加した児童からは、「ため池は江戸時代に作られたことに驚いた」「自然にできたものではなく、人の手で作ったことに驚いた」「いつもは気が付かなかったけど、たくさんの生き物がいることが分かった」など、多くの感想が寄せられた。

ため池の周辺を散策しながら、アドプト看板の説明を聞く子どもたち

神辺学区公衛協では、今後も池の水質改善のための活動を展開していくため、水質検査・水辺教室・ウォーキングなどの事業を通し、住民の意識啓発はもちろん池干しや外来種対策なども議論し、提言や事業を展開していく考えである。

（地域活動支援センター）

最先端のオプション検査のご案内

肥満遺伝子検査

～DNAから考える肥満解消の新時代～

同じものを食べても太りやすい人とそうでない人がいます。これは一人ひとりの「体質」や「遺伝子」が異なるためです。日本人に関係が深い3種類の遺伝子（DNA）を調べて、あなたの体質をチェックしてみませんか？（隠れ肥満が心配な女性にも最適な検査です）

検査料金　：　6，300円（税込み）

【お申込は】財団法人広島県環境保健協会　健康クリニック
電話（082）232－4857

新たに56人の推進員が誕生

地域の特性を活かしたユニークな活動を展開

地球温暖化防止活動推進員新規養成研修

脱温暖化センターひろしまでは、脱温暖化の地域リーダーである「地球温暖化防止活動推進員」を養成する研修を実施。新たに五十六名の推進員が広島県知事より委嘱を受けた。**（日程や場所は右表参照。中期・後期については二つの会場から選択）**

本研修は、A・B二つのコースを設け、前期・中期・後期の三日間のカリキュラムで行う。前期研修で温暖化に関する基礎講座や実践活動の事例紹介などを踏まえながら、実践活動の企画づくりに向けてテーマを抽出し、中期研修で企画の内容を具体化。そして、約三カ月の間に各地域で実践し、後期研修でその成果を報告するというもの。

今年度は左表のとおり、二十四の企画が実践された。その中から、四つの活動報告と実践者の声を紹介する。

平成23年度新規要請研修日程及び会場

	Aコース	Bコース
前期	6月13日（月）【福山会場】	6月14日（火）【広島会場】
中期（選択）	6月27日（月）【東広島会場】 6月28日（火）【福山会場】	6月30日（木）【三次会場】 7月 1日（金）【広島会場】
後期（選択）	10月20日（木）【福山会場】 10月21日（金）【東広島会場】	10月25日（火）【広島会場】

■受講者および実践活動一覧

No.	受講者所属団体・氏名	実践活動名
1	広島市地球温暖化対策地域協議会 垣内田恵・武田健治	この夏の自慢のエコライフ見つけ事業 ～あなたの家のエコライフ教えてください～
2	脱温暖化ネットおんど 矢村禎章・空間元子・中田博子	「暑い夏　クーラーなくても　いい“おんど”」推進事業
3	エコＩＮＮくろせ 新田博海・北原照江	いきいき黒瀬の土づくりプロジェクト 竹炭アートづくり
4	町づくり脱温暖化やすうら 土岡光雄・清水輝昭	ひまわり街道と迷路の旅
5	ひがしひろしま環境家族 高松玲子・森下美冬・高鷹生男	フードマイレージに関するホームページの作成
6	脱温暖化プロジェクトせらＡ 福原正明・新井富士男	せらの風を　新山で“夏”
7	脱温暖化プロジェクトせらＢ 有馬輝枝・新枝信江	ケセルセラ2011～各家庭の生ごみ削減～
8	脱温暖化プロジェクトせらＣ 吉村日出子・貞末恵子	せらの山へいってみよう　～秋～ 『秋学涼行（しゅうがくりょこう）』
9	栗原地区地球温暖化対策地域協議会 谷尾昭泰・柴田武彦・平原照明	わが家の電気消費量の把握
10	かいた緑のネットワーク 上田恵子・鈴木拓也・森澤洋子	まだまだやります緑のカーテン普及事業
11	エコネットたけはら 戸馬田雄介・森永真二	エコーロ（ええ航路）コンソメ（コンソーシアム） アイドリングストップ啓発事業
12	福山市川口学区公衆衛生推進委員会 徳茂清忠・小林哲仁	みどりのカーテンによる人の輪づくり
13	福山市道上学区公衆衛生推進委員会 千葉昭吾・野島敏弘・高橋盈人	ためしてガッテン　測ってナットク！ ～我が家の　待機電力チェック～
14	福山市御野学区公衆衛生推進委員会 渡辺日出和・新宅清敏	スクールキャラバン事業として 水辺教室とエコ学を学ぼう
15	福山市鞆学区公衆衛生推進委員会 村上淳・山田登志夫	「１万人のエコチェック」に積極的に参加しよう！　30/30達成！！
16	尾道市向東地区公衆衛生推進協議会 草刈恒之・栗本憲男・藤原利道	ためしてみよう節電エコライフ “デンデンエコ化555 向東”
17	尾道市木頃地区公衆衛生推進協議会 毎田利實・橋本信美	ダンボールコンポストによる 生ごみの堆肥化
18	尾道市浦崎地区公衆衛生推進協議会 菅成浩・山根孝治・織田隆子	緑のカーテン普及事業
19	府中市公衆衛生推進委員会連合会 池田義也・深野博史・石川秀樹	家庭の消費電力の削減
20	次世代プロジェクト 河野まゆみ・東裕子	「エコ講座」実践編 ～ダンボールコンポスト普及啓蒙活動 『よみがえりＢＯＸ』～
21	リコージャパン株式会社 岡田貢宜・原恒雄	八丁堀から始まる地球温暖化を止めるぞ運動
22	山水風土@ 重谷絹子・横山紀子	山水風土@流　エコ講座ＩＮ　口田中学校 “くっちゅう　食のエコガール”誕生
23	ひがしひろしまREC（（株）木村工業） 佐藤正美・迫田裕子	雨々ふれふれ～ 家庭菜園・庭の散水システム大作戦PART 1
24	エコワカ学園 石谷正宇・信濃晋介	石谷＆信濃のエコインストラクター育成事業

この夏の自慢のエコライフ見つけ事業～あなたの家のエコライフ教えてください／広島市地球温暖化対策地域協議会（NO. 1）

三月十一日以降、「省エネ・節電」に対するの意識が高まった。そこで、訪問・問いかけスタイルのアンケート調査を実施し、夏を涼しく過ごすためのライフスタイルの実態を把握した。結果からは、どの家庭でも夏の暑さを少しでも和らげようと工夫している姿が見えた一方、まだまだ省エネ・脱温暖化に向けた取り組みは進んでいない現状も見受けた。

今後は、「家庭におけるエネルギー使用の『見える化』を通した啓発活動を展開し、脱温暖化への取り組みを促していきたい」と語られた。

みどりのカーテンによる人の輪づくり／福山市川口学区公衆衛生推進委員会（NO. 12）

学区町民の省エネ意識の向上を図り、脱温暖化の川口学区の実現をめざすきっかけとして、「緑のカーテン」の普及をテーマに挙げた。

学区内で緑のカーテンを栽培されている場所をカウントし写真を撮影するほか、温度を測り効果を「見える化」することに挑戦。撮影した写真や温度測定の結果を「緑のカーテンマップ」にまとめ、町内全戸三千五百世帯に配布。今後は、「住民を巻き込んで脱温暖化啓発活動を展開していきたい」と今後のビジョンを語られた。

町内に配布した成果物の緑のカーテンマップ

ためしてガッテン　測ってナットク！～我が家の待機電力チェック～／福山市道上学区公衆衛生推進委員会（NO. 13）

家庭の消費電力のうち六％を占める『待機電力』。この待機電力の実態を把握し、省エネに向けて次の行動につなげてもらおうと、各家庭で待機電力をチェックしてもらう事業を企画。

協力が得られた三十二世帯に、待機電力を測定できる「ワットアワーメーター」を回覧方式で貸し出し、テレビやパソコンなどさまざまな家電の待機電力を測定・調査票に記録してもらった。調査票を集計し、協力者を集めて報告会を開催。今後は、希望者へワットアワーメーターの貸し出しを行うことで、更なる啓発に努めたいと意気込みを語られた。

協力者を集めて行った報告会

雨々ふれふれ～家庭菜園・庭の散水システム大作戦PART1／ひがしひろしまREC（株式会社木村工業）（NO. 23）

自然の恵みである「雨水」に目を向け、家庭の屋根から集めた雨水を貯留し、庭や菜園に散水するシステムを試作。システムは、貯水タンクやポンプ、ホース等を加工・接続し、改良を重ねながら製作。受講生が住む団地住民を集めてデモンストレーションを行ったところ、参会者から「ぜひ、システムを取り入れたい！」という前向きな意見も聞かれたそう。今後のシステムの普及に期待したい。

散水システムのデモンストレーション

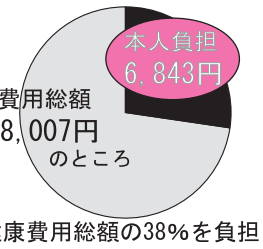
◆　◆

今年度は、震災の影響もあり「省エネ」をテーマとした実践活動が多く、また、継続性・発展性に期待できるものも多くみられた。

県内の推進員は今年度の委嘱者を含め三百八十六名となり、各地で取り組まれる脱温暖化活動の更なる発展に期待したい。

（脱温暖化センターひろしま）

全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）　生活習慣病予防健診【一般健診】　年に1度の健診でイキイキ健康生活（お申し込みはお早めに！）

主な検査項目	受けられる方	本人の費用負担 費用負担額が一部変わりました
一般健診（特定健康健診項目を含む） ●問診・触診・身体計測（腹囲など）　●視力・聴力測定　●血圧測定　●尿検査　●便潜血反応検査　●血液一般検査　●血糖検査　●尿酸検査　●血液脂質検査　●肝機能検査　●胸部レントゲン検査　●胃部レントゲン検査　●心電図検査　など （注）胃部レントゲン検査に代えて、胃内視鏡検査を実施する場合があります。	40歳以上75歳未満の被保険者の方 S10.4.2～S45.4.1に生まれた方 ※今年度で75歳にを迎える方は、誕生日の前日で受診できます。	 健康費用総額の38%を負担

＊上記のほか、付加健診や乳がん・子宮がん検診なども行っております。お気軽にお問い合わせください。

財団法人広島県環境保健協会
健康クリニック
〒730-8631　広島市中区広瀬北町9-1
TEL 082-232-4857　FAX 082-293-2214

「廃棄物」から「資源」に

地域特性に応じたの有効活用を

① 循環型社会とは

日頃からよく耳にする『循環型社会』とは、どのような社会で、実現は可能なのでしょうか。時間と費用を注ぎ込めば、廃棄物を完全にゼロにする社会の実現は、日本の最新技術があればたやすいことです。しかし、そのことによりかえって環境への負荷を増やす場合があります。

環境と密接な関係にある循環型社会について、現状の把握とそういった社会の実現が可能か、三回シリーズで検証します。

今回のテーマから、循環型社会の実現に向けて各段階でやるべきこと（取り組み）を探ります。

循環型社会とは、自然界（地球）から新たに採取する天然資源（石油や木材など）を極力減らし【リデュース】、製品を長期間使用【リユース】する社会のこと。また、いったん使用済みとなったものでも循環資源として社会に再投入【リサイクル】し、最終的に自然界に廃棄（埋立処分）されるものを少なくする社会のことを言います。

具体的な取り組みとしては、これまでどおり各自で廃棄物（ごみ）を減らすことが最優先です。そして、これからは、『廃棄物』と呼ばれていたものを『循環資源』として捉えるよう、認識を変えることが重要です。同時に、『循環資源』には、その種類と地域の特性に応じた最適な循環ルートが必要です。この循環ルートが構築できていないと、せっかくの循環資源が、また廃棄物となってしまいます。これほど無駄なことはありません。

このことを踏まえ、国が目指している循環型社会のイメージは、右図のとおりです。

循環型社会のまとまりは、集団回収やフリーマーケットへの参加など、みなさんと最も係わりのある『コミュニティ循環圏』から始まり、市町村規模の『地域循環圏』、県レベルの『ブロック循環圏』、『国内循環圏』、『国際循環圏』まで、次第に大きな循環にまとめられます。

次回は、循環型社会の実現に向けて『主役は国民・事業者』と題して、先進事例を紹介します。循環型社会の流れを知って、取り組みを実践し、限られた資源の有効活用について考えましょう。

（環境保全課　田中　日出夫）

種類・特性に応じた適切な循環ルート

展開するアグリーン・コンソーシアム

162箇所で温度・湿度をモニター

②科学的に効果を測定

地球温暖化対策地域協議会と脱温暖化センターひろしまが連携し、グリーンカーテンを利用した温暖化対策の実践プロジェクトを始めました。

農業（アグリカルチュア）と緑化（グリーンカーテン）を一体化し、複数の地域協議会が一緒に取り組むことで、さらなる脱温暖化の推進を目指し、アグリーン・コンソーシアム（共同事業体）と名付けました。

今年の目標は、グリーンカーテンによる気温上昇抑制効果の検証です。この取り組みには十の地域協議会が参加し、計百六十二カ所で温度や湿度を調べました。

調査場所では、グリーンカーテンの内側と外側に気温・湿度計を設置し、晴れた日の十時、十四時、十七時に気温と湿度を計測しました。また、自動計測装置（データロガー）を設置し、十分間隔で二カ月間の詳細な測定を実施した地点もあります。

測定にあたっては、TEAM MATE ひろしまの会長でもある、広島工業大学工学部の清田誠良教授の協力を得て「ひろしま版グリーンカーテン実践・調査マニュアル」を作成し、直射日光の影響を避ける日除けカバーを用い、測定位置を地上から一・三メートルに統一するなど、データ精度の向上に努めました。

「実践・調査マニュアル」はアンケート用紙も兼ねており、グリーンカーテンの大きさ、植物の種類、方位をはじめ、グリーンカーテンの経験年数、栽培の工夫、取り組み期間中の電力使用量と前年同月値などの情報も収集しました。また、現地で体感的な効果などについて聞き取ったほか、熱画像カメラ（サーモグラフィ）による撮影、簡易測量などを行って、データの裏づけを取りました。現在は、各地から集まったデータを整理している最中です。気温の上昇を抑制する効果のほか、地域特性に合わせた栽培の工夫、消費電力量の削減効果などが明らかになりつつあります。次号では、その一端を紹介します。

（脱温暖化センターひろしま）

アンケート調査を行う広島工業大学生（上）、測定に使用した温度計（中）、熱画像カメラで撮影をする広島工業大学生（左）

受動喫煙対策に7つの情報提供

健康福祉的視点から国たばこの政策を

県禁煙支援ネットワーク

広島県禁煙支援ネットワーク第９回研修会（公開講座）が10月29日、公衆衛生会館講堂で開催され、禁煙・分煙・防煙対策に関心のある個人・団体、健康づくり関係者ら40人が参集した。

この研修会は、医療保健関係団体のたばこ対策への取り組みと、禁煙・防煙支援活動に関する事例紹介や講演をもとに、地域で取り組むたばこ対策実践活動のきっかけづくりをねらいに開催されている。

今年度は、社会的に問題視される「受動喫煙」をテーマとし、七つの関連団体から情報提供が行われた。禁煙支援ネットワーク運営委員長の岩森茂氏による演題「マンション禁煙に迫る」では、受動喫煙（二次喫煙）の先にある〝サードハンドスモーキング（第三の手による喫煙）〟について説明。これは、服や体に付着したたばこの煙、喫煙授乳母の乳の中などの残留化学物質による煙害のことである。サードハンドスモーキングによって、幼児がニコチン依存症になり、喫煙を始めるきっかけになるケースもあることを報告し、喫煙者本人以外への悪影響について警鐘を鳴らした。

研修会の後半では、参議院議員の石井みどり氏を招き、「わが国のたばこ政策について」と題し特別講演をいただいた。石井氏は、歯科医師を経て、現在は参議院議員として地域における健康増進、少子高齢化対策など多岐にわたって活躍されている。

講演では、わが国におけるたばこ対策の取り組みの現状について説明。「たばこ対策は大きく二つに分けることができる。一つは、〝健康被害の防止という健康福祉的観点からの政策、二つ目が〝たばこ税増税による喫煙者減少〟という名の財源面における政策である。現在は、後者の論議が注目される傾向にある。しかし、財源物質としてのたばこを謳うのではなく、医療からみたたばこ政策の必要性を説く必要がある。今後も、国民の健康に資する政策を打ち出していきたい」と話した。

特別講演をした参議院議員・石井氏

（地域活動支援センター　山形　妙子）

水質検査のご案内

井戸水・山水などを安心してお飲みになりたい方へ

広島県では、
一年に１回水質検査を
行うことを推奨しています。

検査項目・搬入方法等詳細についてはお気軽にお電話ください　☎ 082-293-0163

HIROSHIMA ENVIRONMENT & HEALTH ASSOCIATION
財団法人 広島県環境保健協会
（水道法に基づく厚生労働大臣登録検査機関）
広島市中区広瀬北町９番１号

豊かに赤く実ったソヨゴ

黒く色づき落葉したカエデたち

〝わが宿（やど）に　もみつかへるて　見るごとに　妹（いも）をかけつつ　恋ひぬ日は無し〟万葉集八－一六二三－大伴田村大嬢が妹・坂上大嬢に贈った歌－

（私の家の色づいたカエデを見るたびにあなたのことを心に掛けて恋しく思わない日はありません）「もみつ」－紅葉する　「かへるて」－カエデ

万葉集のこの歌の言葉が、現在使われているモミジ、カエデの語源になったと思われます。きっと万葉時代の紅葉もすばらしかったと思われます。ここ七塚原高原のカエデも種類により、立地条件によりさまざまな色合いと姿を見せてくれています。しかし、今年のように十一月二十日を過ぎてから紅葉適温（十℃以下）になったのでは、やはりタイミングが悪かったようです。イロハカエデはまずまずの紅葉を見せてくれましたが、カラコギカエデ、トウカエデ、ウリハダカエデは落葉したり、黒っぽい色に染まったりしています。

また、カエデの仲間ではありませんが、いつも派手な赤色に染まるアメリカフウも、今年は全く精彩がありません。植物たちの化粧も簡単には乗らないようです。

適温、適地、適水、適光、適養分などがタイミング良くそろって、初めて上手にお化粧ができるのでしょう。人知、人力の及ぶところではありません。今年は美しい紅葉にはなりませんでしたが、実はたくさんつきました。ムカゴ、ナツハゼの実、フユイチゴの実は控えめにいただきました。また、私はいただきませんが、ウメモドキ、ソヨゴ、コシアブラ、クロモジ、ヤマコウバシもたくさん実をつけています。小鳥さんたちがしっかり食べて、たくさん種まきをしてくれると思います。来春の発芽を見てみたいものです。

（NPO法人七塚原自然体験活動研究センター　理事長　西村　清巳）

ソヨゴ（左上）、トウカエデ（右上）、ウリハダカエデ（左下）、イロハカエデ（右下）

意外な野外のガイダンス

～海の生きもの編～

⑤ ニホンアワサンゴ

瀬戸内海に群生地

地球温暖化で拡大か？

南の島のサンゴ礁。澄みきった海に潜れば、誰もがその色彩と造形美に魅了されるに違いありません。サンゴは腔腸（こうちょう）動物で、クラゲやイソギンチャクなどに近い動物です。造礁サンゴの特徴は石灰質の骨格を持つことで、体内には藻類が共生しており、この藻類が光合成を行うことで栄養を得ています。赤道を中心に、暖かく、透明度の高い海に生息しています。サンゴには造礁サンゴのほかに、サンゴ礁を造らない非造礁性サンゴがあります。南の島の規模とは比べるべくもありませんが、瀬戸内海にも造礁サンゴ、非造礁性サンゴの両方が生息しています。

瀬戸内海に生息する非造礁性サンゴとしてはシオガマサンゴなどが、造礁サンゴとしてはニホンアワサンゴ、オノミチキサンゴなどがあります。最近、山口県周防大島の伊予灘側にニホンアワサンゴの大群生地が見つかりました。

ニホンアワサンゴは、種子島から千葉県の太平洋側と、山口・島根県の日本海側に分布しています。周防大島の群生地は日本最大級の規模とされ、ニホンアワサンゴとともに海藻などの他の生物もたくさん生息しています。

ニホンアワサンゴが周防大島の伊予灘側に大規模に群生している理由として、豊後水道から入ってくる黒潮水塊の影響で、水温、塩分濃度、透明度などの条件が適していることが挙げられます。また、地球温暖化の影響ともいわれています。

海の中は普段目にすることができにくい場所ですが、地球温暖化の影響などにより環境が変化していくことが考えられ、これから海の中も注意深く見守っていく必要があります。

（環境保全課　和田　秀次）

周防大島で群生しているニホンアワサンゴ

暮らしの身近なエネルギー　ガス

広島ガス株式会社　広報環境部
環境担当　番野哲夫

5　ガスコージェネレーション

お湯と電気を同時につくる

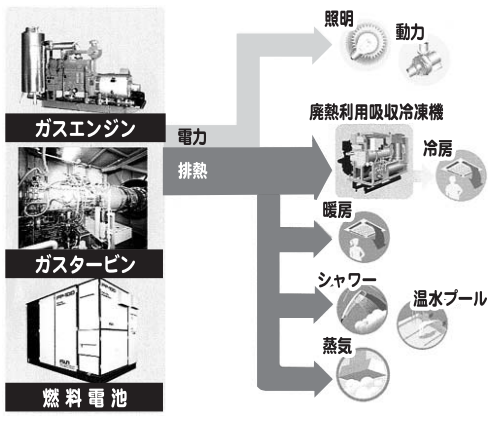
発電時の排熱を利用

最近、「分散型発電」という言葉をよく目にしたり耳にしたりします。電気を、使用する場所の近くで発電する発電方式のことです。都市ガスを燃料として、使用する場所で発電すると、その時に発生した熱も給湯や空調、蒸気の製造などの形で有効に活用できるのでムダがありません。このシステムのことを「ガスコージェネレーションシステム」といいます。燃料にクリーンなエネルギーである都市ガスを利用するので環境性にも優れているほか、省エネ性にも優れています。

このしくみを車に例えると、車のエンジンはガソリンを燃やして車を走らせると同時に、発電機を廻してライト用などの電気を作ったり、熱を利用して車内を暖房したりします。このように、一つのエネルギー（ガソリン）から電気と熱などという複数のエネルギーを作り利用することを、〝コージェネレーションシステム〟といいます。

ガスコージェネレーションシステムには大きくガスエンジン方式、ガスタービン方式、燃料電池方式があります。ハ月号で説明した「エネファーム」も、燃料電池を利用した一つです。

ガスエンジン方式の場合、大型のエンジンを使用することで多量の電気をつくり、また多量の熱を空調や蒸気として利用できるため、熱やお湯を大量に使う工場や病院・ホテルなどでよく利用されています。小型のものはマイクロコージェネといい、レストラン等でも使われます。また地域冷暖房として、ある地域の電気と熱をこのシステムで供給することもでき、新宿副都心やハウステンボスなどでも利用されています。これからの時代にかかせない省エネシステムの一つだと言えます。



出典：日本ガス協会ホームページより

職場環境は快適ですか？

作業環境測定業務【ホルムアルデヒド編】

特定化学物質障害予防規則が改正され、平成21年3月から医療機関などで使用されているホルムアルデヒド（ホルマリン）について、作業環境測定を行う必要があります。
当会は、広島県の登録機関として作業環境測定を行っております。
お気軽にお問い合わせください。

○問合せ先○　〒730-8631　広島市中区広瀬北町９－１
（財）広島県環境保健協会　環境生活センター　環境調査課
TEL：082（293）1511（大代表）　FAX：082（293）5049　ＵＲＬ：http://www.kanhokyo.or.jp/

ドクター Dr.が語る病気 あれこれ

喫煙者は早期にチェックを！

自覚症状がなくゆっくり進行

健康クリニック
医局　勝部　睦子

⑤ 知られざる肺の生活習慣病（COPD）

糖尿病、高血圧、脂質異常などは生活習慣病の代表的なもので、適切な管理がされずに経過すると脳梗塞、心筋梗塞などの重い合併症を招くことが、一般的に知られるようになりました。しかし、肺の生活習慣病「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」はあまり知られていません。COPDは、たばこの煙を主とする有害物質を吸い込むことにより、気管支の炎症や肺胞破壊がおこる病気です。

初期の症状は咳、痰、階段や坂道での息切れといったありふれたもので、ゆっくり進行するため見過ごされやすく重症になるまで受診されず、発見が遅れがちです。重症化すると呼吸困難のため日常生活に支障をきたし、酸素吸入が必要となったり寝たきりになってしまいます。

■早期発見で重症化を防ぐ

進行したCOPD患者さんの肺CTでは、きめの細かいスポンジ状の肺胞構造が壊れてスカスカの海綿のようになった像が見られます。破壊された肺胞構造は元に戻らないため、早期発見のためには、喫煙者は自覚症状が無くても肺機能検査を受けることが大切です。

■肺機能検査と肺年齢

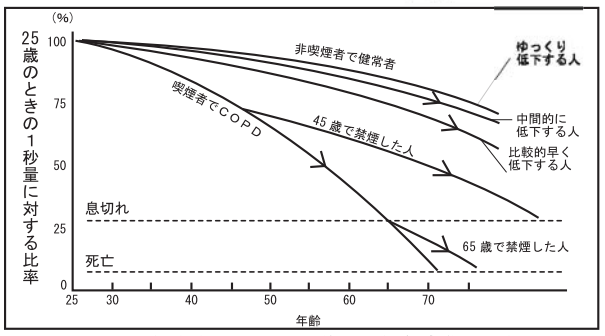
ドックでも実施されている肺機能検査がCOPD早期発見の重要な手段となります。スパイロメーターという機械を使い測定します。COPDの患者さんは「努力性肺活量」「一秒量」の両方が健康な人より低くなりますが、一秒量の低下が目立ちます（一秒量が七十％未満はCOPDと診断）。また、フローボリューム曲線の型をチェックすることで、より早期のCOPDを見つけることができます。

肺機能検査結果から、「肺年齢」が算出できます。喫煙者では、「肺年齢」が実年齢よりも二十歳以上も上回っている人も珍しくありません。

五十歳で肺年齢が八十歳とされたら、ショックを受けられます。

■予防と治療

COPD患者の九十％は喫煙者です。予防と治療には禁煙が最重要となります。喫煙を続ける限り肺胞の破壊は進み、肺機能は加齢による変化を超えて低下しますが、禁煙によりその進行は緩やかになります。COPDと診断されたら即禁煙し、専門医による治療を受けてください。



COPDと健常者における１秒量の経年変化の比較

（初出：Resline, 1991を邦訳。木田厚瑞著『肺の話』岩波新書、1998より引用）

食の話

⑨ 賞味期限・消費期限

正しい認識で食品ロスを削減

いずれも開封したらお早めに

食品の表示は、消費者が品質や内容を見極め、商品を購入する上で重要な役割を果たしています。また、食品の取り扱い方や保存方法など製造者等（販売者、輸入者を含む）が消費者に対して提供する大切な情報です。

農林水産省は、平成二十年度に消費者に対して「加工食品を購入するとき、どの表示を確認するか」という調査を行いました。その結果、最も多かったのが「賞味期限や消費期限を確認する」で、次いで「どこで加工されたか（原産国など）を確認する」でした。これは三年経った現在でも変わりません。

食品の期限表示（賞味期限・消費期限）は、平成七年に国際規格との整合性をとるため、製造年月日表示から期限表示に変更されました。さらに、平成十五年には食品衛生法では「品質保持期限」、JAS法では「賞味期限」としていた表示が、消費者に浸透している「賞味期限」に統一されました。なお、消費期限は両法とも共通です。

加工食品（一部の食品を除く）においては、賞味期限または消費期限のどちらかが表示されています。賞味期限とは、「定められた方法により保存した場合において期待される全ての品質が十分可能であると認められる期限を示す年月日」のことです。

つまり、おいしく食べることができる期限であり、この期限を過ぎたら食べられないというわけではありません。この表示の対象は、品質の劣化が比較的緩やかな食品で、スナック菓子、即席めん類、缶詰、牛乳、乳製品などです。

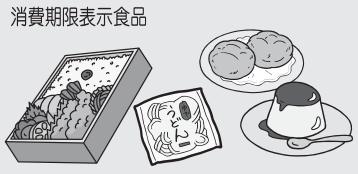
一方、消費期限とは、「定められた方法により保存した場合において腐敗、変敗その他の品質劣化に伴い安全性を欠くこととなるおそれがないと認められる期限を示す年月日」のことで、この日を過ぎたら食べないほうがよいという期限です。この表示は、製造日を含めて概ね五日以内で品質が急速に劣化する食品で、弁当や調理パン、そうざい、生菓子類、食肉、生めん類などが対象になります。

ここで注意していただきたいのは、これらの表示は製品が未開封の状態での期限を表していることです。一度開封したら期限にかかわらず早めに食べてください。賞味期限を過ぎていないのに廃棄したり、賞味期限を一日過ぎたので廃棄した経験がある人もいると思います。賞味期限や消費期限の意味を正しく理解して、「もったいない」食品が少しでも減ることを願っています。

（分析三課　前　俊江）

賞味期限表示食品

消費期限表示食品



みんなの助っ人！ 環境カウンセラー

⑥⑥ 東道（とうどう） 淳子（じゅんこ）

【登録年度】平成19年度・市民部門
【専門分野】廃棄物，リサイクル，化学物質，環境教育，市民活動，消費者教育，地球環境問題
【活動エリア】広島県内全域

身近にできるエコを推進

ごみ減量、省エネに尽力

「子どもエコクラブ筆の里くまのエコキッズ」の代表サポーターとして、子どもたちの活動支援を行うほか、個人で、家庭で今日からできることを実践・提案している東道さんに、これまでの取り組みや環境カウンセラーとしての思いを語ってもらった。

◆これまでの活動について

究極のエコクッキングや古着のリフォーム、エコバッグづくりなどのごみ減量に関する活動を行っています。また、無肥料自然栽培に取り組み、野菜づくりや・販売を行うなど、持続可能な農業に取り組んでいます。その他、地元の公民館や小学校で環境に関する講師を務めたり、ドイツへのエコツアーを企画・実施したりしています。

◆カウンセラーになったきっかけ

中学生の頃、友人が弁当で使用した割り箸を毎日折っているのを見て「もったいない」と思い、友人たちに割り箸を使わないよう呼びかけを行ったことが最初の行動でした。以降、省エネやごみ減量に関心を持ち続け、「無駄な電気を消す」「水を止めて歯磨きをする」など、毎日の生活の中でできる行動を当たり前で自然なこととして続けてきました。これらの「自分にとって当たり前のこと」をもっと広げたい、もっと活動をしている人と出会いたい、人の役に立ちたいと思い、環境カウンセラーに挑戦しました。

着物を着て竈でご飯を炊く東道さん

◆これから住民と一緒に取り組みたいこと

ごみを無くし、持続可能な農業と自然の花で、健康な美しい人間味あふれる文化的まちづくりに取り組んでいきたいと思います。当たり前のことを自然にできるよう、がんばっていきたいです。

最近は、着物を着て竈（くど）でご飯を炊くことに凝っている東道さん。今後も、省エネ・省資源・ごみ減量の視点で取り組むさまざまな活動に期待したい。

◇　◇

環境カウンセラーへの問い合わせは、環境カウンセラーひろしま事務局【環保協】(082) 293-1512・担当住田まで

人間ドックオプション検査　元気で長生きするための新しいドック（お申し込みはお早めに！）

アンチエイジングドック
フリーラジカル（活性酸素）をはじめ、血管年齢、ホルモン年齢、骨年齢、体力年齢、肺年齢、認知症の有無、腎能力を総合的に把握し、いつまでも若さを保つ、老化予防の知恵をアドバイス。
料金：５２，５００円

動脈硬化ドック
動脈硬化に焦点を当てた働き盛りの方へのオプション。
感化ストレスのマーカー、動脈硬化のマーカー、ＭＣ－ファン、頚動脈エコー検査、脈波検査を実施。
料金：２５，０００円

更年期ドック
ホルモン検査による更年期の判定、および骨粗しょう症検査を行います。
性ホルモン（ＦＳＨ、エストラジオール）超音波骨密度検査。
※対象：女性のみ
料金：７，５００円

＊その他、会員制ＰＥＴドック、政管・健保ドック、特定健診を実施できます。詳細はお気軽にお問い合わせください。

財団法人広島県環境保健協会
健康クリニック
〒730-8631　広島市中区広瀬北町9-1
TEL 082-232-4857　FAX 082-293-2214

News ファイル　10/1～11/30

今年春に北極上空でこれまでにない規模のオゾン層破壊が進み、南極にできるオゾンホールに匹敵する大きさになったのを初めて確認したと、国立環境研究所などの国際チームが英科学誌ネイチャー電子版に発表した。

オゾンは、フロンなどに含まれる活性塩素によって破壊される。北極上空は南極より冬の気温が高く、オゾン層を壊す物質ができにくいが、今年は春まで厳しい寒さが続いたため、破壊が進んだようだ。

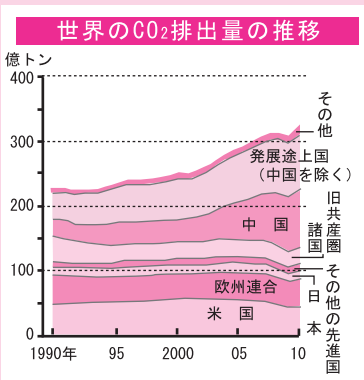
日米欧の9カ国のチームは、人工衛星や気球を使って北半球の待機のオゾン分布を調査。今年3月末に、オゾン濃度が低い領域が極海から北欧、ロシア北部、グリーンランドに広がったのを観測した。高度18～20キロメートルでのオゾン層破壊が80%まで進んだことが確認された。今後も、このような規模の北極上空でのオゾン層破壊が起こる可能性は否定できない。

◆$CO_2$20年で45%増

2010年の世界全体の二酸化炭素排出量は、1990年に比べて45%増え、過去最高の約330億㌧に達したとの報告を、欧州連合（EU）の研究機関などがまとめた。世界不況による落ち込みから経済活動が回復し、前年比では5.8%増と20年で最大の伸び率となった。

90年は京都議定書の基準年。温室効果ガスの削減義務を負う先進国全体の排出量は減ったが、議定書を未批准の米国は増加。中国やインドなど新興国の急増で途上国が先進国を上回り、世界全体の排出量を押し上げた。

報告書は、化石燃料の使用やセメントの製造過程などで出るCO_2を推計。10年の排出量はEUが90年比7%減、ロシアが28%減、日本は横ばい、米国は5%増、先進国全体では7.5%減だった。議定書が定める08～12年の先進国全体の削減目標は、達成可能と分析している。一方で、中国は3.6倍、インドは2.8倍に増加。途上国全体では2.7倍近くに増えた。



新興国での対策の重要性が浮き彫りになる一方、議定書が先進国の排出削減に有効であることを示す結果。年末に南アフリカで開かれる気候変動枠組み条約第17回締約国会議（COP17）での次期枠組み交渉にも影響を与えそうだ。

ただ、10年の国民1人あたりの排出量を比べると、最も多い米国が16.9㌧、日本が9.2㌧、EUが8.1㌧、中国が6.8㌧、インドが1.5㌧と先進国が多い。

省エネが進んでいるとされてきた日本は、EU全体の他英国、イタリア、スペインより多く、取り組みの停滞を印象付けた。

◆夏の節電目標家庭は未達成

経済産業省の資源エネルギー庁は、今夏の企業や家庭の節電実績をまとめた。ピーク時の電力消費に関して政府が示した数値目標を、企業や商店がほぼ達成。一方、一般家庭は目標を下回る傾向が見られた。

節電実績は、工場などの大口需要家に15%の電力使用制限令を出した東京、東北電力や需給が厳しかった関西、九州電力の管内の動向を調査して総括。電力需要が高く、気温がほぼ同じだった日について、前年と今年のピーク時間帯の需要を比べた。

大口需要家の削減率は東電管内では27%、東北電は18%だったが、関電は削減目標の「10%以上」に対して9%にとどまった。東電、東北電、関電管内のコンビニや中小企業など、小口の事業者は目標を達成した。

家庭は削減目標の15%に対し、東北電管内が18%だったが、東電は11%と未達。10%以上を目標とした関電は4%、数値目標の無かった九電は7%だった。

家庭で未達傾向が見られたのは、昼間ピーク時以外の夜などに、節電の取り組みが分散したためと見られている。

定期点検中の原発再稼働の遅れで再び需給がひっ迫する今冬も、政府は関西電力管内を中心に節電要請を検討している。資源エネルギー庁は「家庭のピーク削減が課題」として、暖房需要などを抑えるマニュアル整備に乗り出す方針だ。

◆子どもの体力ピーク水準まだ遠く

文部科学省は「体育の日」にあわせ、2010年度の体力・運動能力調査結果を公表した。子どもの体力は小学男子（11歳）の50メートル走成績が向上に転じるなど、回復傾向がより顕著になったが、体力のピークとされる1985年度ごろの水準と比べると、多くの項目で低い状態にとどまっている。

調査は64年度から毎年実施されており、今回は6歳から79歳までの男女約6万8千人が昨年の5～10月に体力テストを受けた。

子どもの体力は、近年、横ばいか向上の傾向が出ていた。今回は、中学女子（13歳）の持久走、高校女子（16歳）の50メートル走、立ち幅跳びでも、前回調査の「横ばい」から向上へと転じた。小中高校生の体力テスト合計点平均は、現行方式となった98年以降最高。しかし、85年度頃との比較では、中学男子の50メートル走とハンドボール投げを除き、低い水準にとどまっており、ほとんどの年齢層では、「運動しない」子の割合も増えていた。大人（20～64歳）の体力分析では、20～30歳の体力が低下傾向にあることが分かった。

文科省では「幼い頃から運動週間を身につけるなど、体力向上に取り組む必要がある」としている。

（文責：地域活動支援センター）

環保協

広瀬小と共催で自然観察会

河川清掃では軽トラ2杯分のごみ

当協会は、地域社会の一員として、地元に密着した社会貢献活動に取り組んでいます。この度、秋季の取り組みとして「自然観察会in広瀬小学校」と「〝環保協前〟天満川クリーン作戦」を実施しました。

自然観察会（十月二日開催）は、今年二回目の開催で、地元の広瀬小学校と共催して行いました。当日は、事前に公募した親子三十二人が参加し、当協会発行の『天満川・自然観察＆ウォーキングマップ』と双眼鏡を持って、約一・五キロメートルのコースを歩きながら植物や野鳥などを観察しました。また、観察の途中には、ヨシやイヌタデなどの植物にまつわるクイズや、バッタ捕りなどを楽しみました。参加者からは、「植物の特徴がわかって面白かった」「自然に触れるよい機会になった」などの感想をいただきました。

バッタ捕りを楽しむ参加者

〝環保協前〟天満川クリーン作戦（十一月三日開催）は、当協会の役職員や近隣の住民など九十人が参加し、横川新橋から中広大橋の間の河川内と左右両岸の遊歩道を清掃しました。当日は、干潮時刻の九時前後に作業を行い、収集量は自転車やタイヤ、雑誌やペットボトルなどのごみが軽トラック約二杯分に上りました。

当協会では、今後もこれらの活動を通じて、コミュニティの環境保全に貢献していきたいと思います。

（総務課）

『2012公衆衛生推進手帖』が完成

配布に合わせて網羅型アンケートを実施

今月、地域活動支援センターは「2012公衆衛生推進手帖」を市町公衛協へ配布した。この度は、公衆衛生推進委員の声を反映して、スケジュール機能を強化した。

この手帖は、健康感謝募金の環保協配分金を財源に公衆衛生推進委員の活動支援を目的に作成している。推進委員としての心構えや、実践活動の参考書として、存分にご活用いただきたい。

アンケートにご協力を！

今年度は、全公衆衛生推進委員を対象とした「一万人のBESTチェックキャンペーンアンケート」を行う。内容は、手帖の活用度や内容に対する意見、また合わせて全県共通事業重点メニューの実施状況調査などをあわせた〝網羅型のアンケート〟である。市町公衛協事務局を通じて2012公衆衛生推進手帖と併せて配布する予定。（配布方法は市町によって異なります）設問に対して丸印をつけるチェック方式なので、ぜひご協力いただきたい。

なお、アンケートの結果は、新年度の情報紙で紹介するほか、今後の手帖作成に反映させていく。

（地域活動支援センター）

環保協

平成23年度　保健所・市町水道担当者研究協議会開催

去る11月8日、毎年恒例となっている当協会主催の「平成23年度　保健所・市町水道担当者研究協議会」を開催し、水道事業担当者など80人が参集しました。

今回は、神戸大学大学院工学研究科の鍬田泰子准教授に「東日本大震災における水道施設の被害と今後の課題」と題し、東日本大震災による水道施設の被害状況と施設や管路の耐震性、津波への対策といった課題についてご講演いただきました。

これに続き、広島県食品生活衛生課の中川裕将主任に「水質検査における信頼性確保について」と題し、水道法施行規則の改正について解説していただきました。水質検査では、高い信頼性が求められていることから、県内の水道事業者が水質検査を委託する際は、信頼性の高い検査機関に委託する必要があるとのことでした。

当協会はこれからも、広島県の水道事業に役立つセミナーや会議を開催してまいります。

（業務開発課　柚山　豪志）

健康感謝募金

～地区衛生組織活動資金募集～

市町別一覧表

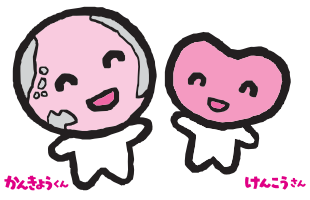
（平成23年11月末現在）

市町名	募金額（円）	達成率
呉市	8,238,424	147.6
府中町	1,378,400	129.9
海田町	2,635,144	449.8
熊野町	1,483,320	289.2
坂町		
江田島市	2,045,726	308.7
竹原市	1,806,500	278.7
大崎上島町	355,700	160.2
大竹市	2,684,000	427.0
廿日市市	3,482,326	226.9
廿日市市佐伯	377,809	154.6
廿日市市吉和	97,900	487.1
廿日市市大野	2,560,900	458.8
廿日市市宮島	216,800	499.0
安芸太田町		
北広島町	1,191,000	291.3
安芸高田市	1,573,100	237.3
東広島市	4,421,595	118.9
三原市	1,824,451	85.1
世羅町	798,550	237.5
尾道市	3,463,420	109.1
福山市	9,585,340	102.0
府中市	1,186,730	136.8
神石高原町	309,200	148.7
三次市	2,672,675	225.9
庄原市	1,637,600	203.8
その他	81,007	－
合計	56,107,617	157.3

※この表は、11月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

健康感謝募金総額

56,107,617円

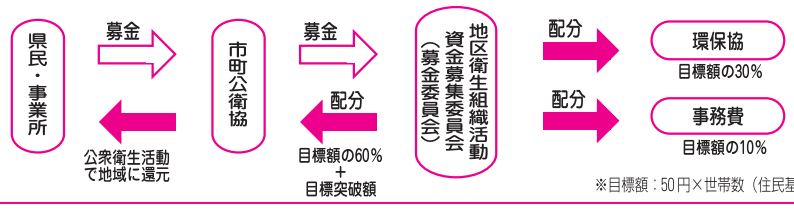


健康感謝募金は、昭和35年から実施し、平成23年度で52回目を迎えます。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

【健康感謝募金Q＆A】

Q：健康感謝募金ってどのように集められ、管理されているの？

A：健康感謝募金は次のような手順で募金委員会に集められ、記録、配分を行い、公衛協活動に活用されています。



※目標額：50円×世帯数（住民基本台帳による）